

うたごよみ

# 曾於文藝

## 俳句

### 末吉俳句会

彈けとぶ種の戦略釣舟草

小野 明日香

水涸れて大役果し流れかな

川崎 多恵子

新藁の車車に道ゆずり

前原 悅子

### 大隅俳句会

川崎 綾子

老の身やひと日一枚障子張り  
どれぬ柿小川に影を落しをり

吉川 ツミ

小春日や課外授業の子等に会ふ  
岩重 みどり

木犀のかおり漂う小庭辺に  
はるかな人を偲ぶ夕暮れ  
吉崎 フサ子

川崎 昌子

黒揚羽百合とたわむれ飛び立  
てり大暑の日照りものともせ  
ず

福嶋 恵美子

口蹄疫終息となり国道を仔  
牛積載のトラック走る

松下 和子

大隅短歌会

圓高の続く不況の世の中に  
明るき話題ノーベル賞あり

渡辺 哲夫

脱農を決めて最後の仕事終  
へ機械を洗う夫の背見てる

加塩 秀子

小春日や課外授業の子等に会ふ  
岩重 みどり

川俣 若

静かなる秋雨に濡れつややか  
に狭庭に咲きしコスマスの花

瀬戸口 芳子

四角豆採りつつ偲ぶは友如何に  
種子賜ひし人ぞ幾年過ぐるや

富山 治雄

峠の田に稻は実れど夏の日の  
惨禍の跡も目に白白し

杉村 リカ

引出しの奥に仕舞ひし一枚の  
写真は招くかの日かの時

山田 竜生

## 短歌

### 末吉山茶花短歌会

生命線どちらが長いか比べ  
合う老いて残るはどちらも  
淋し

西 昌子

昭和の歌謡で親しまれ古里の  
畦に咲く赤きまんじゅしやげ

児玉 次雄

黒揚羽百合とたわむれ飛び立  
てり大暑の日照りものともせ  
ず

橋口 貞男

何事も無きが如くに日は昇り  
時計の秒針げに急がしさう

古川 一幹

睦の歌謡で親しまれ古里の  
畦に咲く赤きまんじゅしやげ

桐野 奈世

爺の買物袋は全部  
焼酎肴

福の神 袋を下げつ

沿線の鳥のねぐらも刈りとら  
れ囀りのなき朝のむなしさ

古川 一幹

爺の買物袋は全部  
焼酎肴

古川 一幹

沿線の鳥のねぐらも刈りとら  
れ囀りのなき朝のむなしさ

古川 一幹

爺の買